新規事業で雇用創出

人材派遣の都工業

ガラスに断熱加工

フミンと代理店契約 温暖化防止アピール

安本佳代社長

人材派遣業の都工業（本社豊田市土橋町八ノ七六、安本佳代社長、電話0565・29・7077）は、ガラスの断熱加工事業に新規参入し、「派遣切り」にあった人たちの雇用創出に乗り出す。独自の加工技術で特許を持つ福島県の業者と施工の代理店契約を結んだ。ガラス面に薬剤をスプレーで吹き付けるだけで冷暖房費と温室効果ガスの削減につながる利点をアピールし、ガラス張りの建物で施工実績を積み重ねていく考え。

（豊田・強田裕史）

「フミンコーティング」の作業を元派遣従業員に指導するフミンの八木澤社長（右）

代理店契約で使用権を得た技術は、ガラスに紫外線と赤外線を吸収する伝導性金属酸化物をスプレーで吹きつけ、金属の幕を形成させる「フミンコーティング」。夏は外気の熱と紫外線を遮断し、冬は暖房の熱を逃がさず結露を抑える効果を発揮するという。

開発したのは、農業・環境対策資材メーカーのフミン（福島市、八木澤勝夫社長）。〇七年に特許を取得し、全国約七十社とパテント契約を結んでいる。

フミンの技術を使用するにあたり、都工業は、一定の「パテントチャージ」を支払った。資材や器具の調達以外に、売り上げの一部を納めるといった取り決めはないという。

一九九一年設立の都工業は、愛知県内で中堅クラスの人材派遣業者。〇八年六月期の売上高は二十億円。派遣先は三河地区の工場が大半を占めている。

昨年のトヨタショックで「派遣切り」が続出し、その影響で今六月期の売り上げは前期比30％減の見通し。約五百五十人の契約者も昨年末から二百人ほど減らしたが、残った人の中でも仕事に就いているのは約二百三十人。これ以外に百人以上の仕事のない人を、光熱費だけで県内六カ所の自社寮で引き取っている。

人材の雇用機会を生み、環境配慮型ビジネスへの参入の契機になるとして「フミンコーティング」の使用権取得を決めた。テレビ番組で知ったフミンに契約を申し込み、「技術の使用目的に賛同してくれ、三月末に円滑に交渉がまとまった」（安本社長）という。

作業自体は簡易で、現在、希望者が寮の窓ガラスで練習している。すでに受注もあり、今後は県内のコンビニエンスストアなど商業施設や建築業者に営業をかけていく計画だ。

ローランド デジタルピアノ 高級デザイン投入

鍵盤に象牙、黒檀再現

【浜松】ローランドは、シンプルなデザインとスリムボディーが人気のデジタルピアノ「DP－990」シリーズから、鏡面部分を高級感あふれる黒塗り塗装に仕上げた「DP－990R」の販売を始めた。

高級感あふれるデザインでリビングのインテリアとしても存在感を発揮する。鍵盤の白鍵には象牙を、黒鍵には黒檀の見た目と手触りを再現した「PHA－Ⅱアイボリー・フィール鍵盤」を採用。鍵盤にはく、指にない手触りを長時間の演よいタッチが、店頭実万円前後。初年度二千を計画して

脂質・糖類ゼロの商品

気

アイシン機 アイス精 快

アイシン四日、東京

不織布にフッ素コーティング

台裏

ンが付いていて汚いから』などの答えが返ってきたのがきっかけ。

両用の『クリーンラインコーワ』を発売、トップセラーを誇った。

『三次元マスク』を売。顔の動きに合わてマスクが上下に柔

る。企画をとり部宣伝・マーケ細江幸宏氏に、を聞いた。